

2021/10/11
2021/10/14 追記

10/11 に下記のお知らせをいたしました。10/14 付にて外来症例の病歴要約が適切なフォーマットでなかったのを、修正しました。
度重なる改訂でご迷惑をおかけいたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

お寄せ頂いたご質問・ご意見をもとに、病歴要約と経験症例リストの改訂を行いました。
ご迷惑をおかけし、申し訳ございません。

すでにダウンロードされ、作成されている先生は、下記を追加して作成を続けられ構いません（念のため、今回の改訂版と下線内の案内もご確認ください）。

病歴要約：指導名の署名欄と確定診断名#4 を追加、印刷した時に A4 サイズ 2 枚となります。

経験症例リスト：指導医の署名欄をリストの末尾に追加

◆病歴要約の改訂

- ・指導医の署名欄を新設
- ・確定診断名#4（その他の副病名）を追加
- ・行幅を拡張
- ・推奨の行数に一致するように各記載スペースを調整（フォントとして游ゴシック 10Pt で確認済）
- ・印刷したときに、A4 で 2 枚になるように調整（内科版 J-OSLER に合わせて）

※病歴要約の分量は、主訴～退院時処方 40～60 行程度、総合考察は 7-15 行程度を目安として下さい。

- ・外来症例の病歴要約が適切なフォーマットでなかったのを修正いたしました。（10/14 追記）

◆経験症例リストの改訂点

- ・指導医の署名欄をリストの末尾に新設、フッターの指導医名・印を削除
- ・症例の概略欄の適切な量にあわせて行幅をあらかじめ拡張
- ・印刷設定（横向き・両面印刷）→両面印刷で 15 ページ

※J-OSLER から簡単にコピーできる形としています。考察や自己省察は特に必須としておりませんが経験した症例を簡潔にまとめて記載（長くても 10 行程度までを目安として下さい。字数制限はありませんが、プリントアウトするので、大きく体裁がずれないようにして下さい）。